

町内寺院約53カ寺の協力のもと、歴史的風土の持つ環境保全に努めている(街路灯の整備、電話ボックスの改善等)。



高野町は和歌山県北東部の伊都郡にあり、弘法大師が開いた真言宗の総本山の門前町として発展してきた。今から約一二〇年前、弘法大師が時の嵯峨天皇に上請して金堂を始めとする

諸堂を建設したのが始まりで、現在では二二〇余の山内寺院が存在し、年間一〇〇万人もの観光、参拝客を集めている。町では、こうした歴史的風土を背景



データボード[®]

- ① 和歌山県伊都郡高野町高野山
- ② 高野山役場 ☎0736-56-2931
- ③ 防護柵800m、柵1,863m、街路灯2基、電話ボックス5基
- ④ 防護柵：擬木コンクリート 街路灯：アルミ製 柵：高野マキ 電話ボックス：アルミ製

とする独特の環境の保全に努めてきたが、近年の著しい交通量の増加等により沿道の環境の悪化が見られたため、各種関係団体に協力を求めて、景観保全を重点とした町内街路の沿道整備に昭和五六年から着手した。

こうして、古くからの街並みには不釣り合いであったガードレールを天然木をかたどった柵(コンクリート製)としたほか、景観に配慮した街路灯や電話ボックスの設置を行うとともに、寺院の周辺には高野横を用いた潤いのある柵をめぐらした。

これらの整備により、街並みの保全・再生に大きな効果が上がり、高野町のイメージにふさわしい街並みが形成されている。